

山村学園高等学校後援会

(特色ある教育活動について)

山村学園高等学校は、小江戸川越市に所在し昨年度100周年を迎えました。来る11月14日の埼玉県民の日にペルーナドームにて、同じ学校法人の山村国際高等学校、山村短期大学と合同で100周年記念祭を執り行います。私たち後援会もお手伝いを考えています。

本校では創立100周年を期に、今までの教育活動を見直しました。この結果、2022年度入学生から3コース制へと改編しました。特別選抜S Aコース、特別進学E Lコース、総合進学G Lコースです。それぞれの進路目標によって教育課程が違います。私たち後援会もコース毎の教育活動を踏まえ、できる限りの支援をしていきます。

(後援会活動について)

本校の後援会は、学校行事や生徒の教育活動、課外活動、部活動および生徒会の支援を目的としており、このための予算の立案及び執行をしっかりと行っています。主な活動としては、文化祭での出店、体育祭での飲料の提供、保護者向けの大学見学会、理事研修旅行などを行っています。

文化祭では、コロナ禍以前は毎年屋台を出して、焼きそばやラムネを提供してありました。昨年3年ぶりに文化祭を開催しましたが、コロナ感染対策で飲食を調理しての提供ができなかったため、お祭りの縁日を出店して輪投げや射的などのゲームを生徒達に楽しんで貰いました。これが大行列ができるほどの大好評で、今年も縁日を開く予定です。

体育祭では、熱中症対策の意味も含めて、直接会場にて生徒達や先生方に冷たい飲料水を提供する等の支援を行っています。

大学見学会では、副校長や進路指導部主任の先生にも参加していただき、大学側との連携などのご協力の下、東洋大学と昭和女子大学にてキャンパスツアーをさせていただきました。大学職員の方から今の大学の取り組みや教育理念などのお話を聞けたり、学生達にキャンパス内を丁寧に案内して貰ったりと貴重な体験をさせていただきました。

研修旅行は、春と秋の年2回開催され、文化や芸術に触れる機会となっています。今年は、去る7月1日に、歴史に造詣が深い校長にも参加していただき、浅草を中心に東京見学を実施し、江戸の文化に触れてきました。この経験が、2年次に実施する遠足(東京見学)の際に、親子での話題に上れば幸いです。更に11月には劇団四季のアナと雪の女王を観劇して、芸術に触れる予定です。

本校では、2ヶ月に1度ほど後援会理事会を開催しています。学校側から管理職の先生方にもご参加いただき、学校の近況報告や諸連絡など先生と保護者の交流を図っています。

このように山村学園では、後援会の活動に先生方も積極的に参加や協力をしていただいております。今後も先生方と後援会が一体となり生徒達のサポートをしていきたいと思っております。



1号館校舎



浅草での理事研修



大盛況だった文化祭



後援会で出店した縁日

埼玉私学保連とは

【埼玉県私立小学校中学校高等学校保護者会連合会】

私学助成運動や青少年健全育成などの私立学校振興のため、埼玉県内の私立小学校・中学校・高等学校より出向している保護者会の現役員を中心とする組織として平成19年2月18日に誕生しました。

21世紀を担う青少年の健全育成や児童・生徒の安全・防災・防犯問題等についても、私立学校の充実・発展に寄与していくことを目指しています。

埼玉私学保連ニュース発行担当：広報部会
部会長 佐藤美紀
部会員 大野裕美、橋本直哉、中野幸弘、工藤直成



https://saitamashigaku.com/publics/index/19/

リンクより埼玉私学保連ニュースのバックナンバーがご覧いただけます。

埼玉県私学振興大会

日時：令和5年11月28日(火) 14時～

場所：さいたま市文化センター

多くの皆様のご参加をお願いいたします。

Saishigakuuhoren NEWS

発行/埼玉県私立小学校中学校高等学校保護者会連合会(略称:埼玉私学保連)
所在地/さいたま市浦和区高砂4-13-20 埼玉私学会館内 TEL.048-866-4478 FAX.048-866-4479

会長挨拶

埼玉県私立小学校中学校高等学校保護者会連合会
会長 國分 忠義



皆様には、日頃より埼玉私学保連の活動にご支援、ご協力をいただき誠にありがとうございます。本年度6月に行われました定期総会において、昨年度に引き続き会長に就任させていただきました。川越東高等学校より出向しております國分忠義と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、3年間猛威を振ったコロナウイルス感染症が落ち着いてきた今、長いコロナ禍のトンネルの先が見え、停止されていた学校行事、保護者会の活動も一歩ずつですが、元に戻りつつあると思います。この3年間で私たちの生活様式も、もちろん学校生活もだいぶ変化があったと思いますが、1日でも早く子どもたちが通常笑顔で、学校生活が送れるようになることを心より願っております。

今年度も11月に中高協会の皆さまと共催で私学振興大会の開催など、色々な事業がございますが、埼玉私学保連に加盟する学校の皆様には、事業へのご参加を是非ともお願いしたいと思っております。日本の未来を担う子どもたちの為に、一緒に楽しく保護者会活動を頑張りましょう。よろしくお願いいたします。

以上で簡単ではありますが、ご挨拶とさせていただきます。

2023年度 埼玉私学保連 役員紹介



- 会長 國分 忠義(川越東)
副会長 小高多希子(武蔵越生)
副会長 関口 健一(埼玉栄)
副会長 佐藤 美紀(狭山ヶ丘)
副会長 高野 恵子(春日部共栄)
会計 大野 裕美(西武台)
会計 村上 歩(花咲徳栄)
会計 田中 一(山村学園)
会計 渡部 アキ(浦和ルーテル学院)
書記 上田 雄彦(山村学園)
書記 青木 美樹(獨協埼玉)
書記 金澤知栄子(武南)
書記 山田 正憲(浦和学院)
書記 中野 幸弘(城北埼玉)
理事 神谷ゆかり(大宮開成)
理事 橋本 直哉(城西大学附属川越)
理事 工藤 直成(大妻嵐山)
監事 嶋根 和江(叡明)
監事 綿貫 正浩(東野)
監事 五十嵐理江子(浦和麗明)
監事 梶田 雄一(東京農大第三)

埼玉私学保連の活動報告

埼玉私学保連加盟校等代表者連絡協議会

広報部 工藤 直成

令和5年5月21日、ザ マーク グランド ホテルにて令和5年度加盟校等代表者連絡協議会を開催いたしました。

加盟校44校、加盟保護者会団体48団体から、代表者と埼玉私学保連の理事や事務局を合わせて78名が参加し、令和5年度の理事・監事候補者等について協議し、学校紹介や各校保連の活動等の情報交換を行いました。

昨年度までは新型コロナウイルスの感染の影響で、なかなか例年通りの活動ができませんでした。今年度は新型コロナウイルスの5類移行で保護者会活動が実施できるようになり、各校の保護者会の今後の活動についての方向性や取り組みについての情報共有を図ることができ、有意義な時間を過ごすことができました。



令和5年度埼玉私学保連定期総会

広報部 中野 幸弘

令和5年6月4日、ザ マーク グランド ホテルにて令和5年度埼玉私学保連定期総会が開催されました。当日は、加盟校44校、加盟保護者会団体48団体から91名、来賓5名、顧問2名、事務局2名の合計100名が参加いたしました。國分会長のあいさつ、ご来賓のあいさつ・紹介、加盟校・参加校の紹介、議長選出・議事録署名人の選出後、下記の5議案について審議し、可決・承認されました。

本年度は、総会終了後4年ぶりに懇親会を開催し、各校の近況報告や父母の会の取り組みなどについて活発な情報交換を行うことができました。



埼玉県知事表敬訪問

副会長 佐藤 美紀

令和5年6月15日、大野元裕埼玉県知事を表敬訪問いたしました。知事からは「県は本年をポストコロナ元年と位置付け、可能な限り生徒たちが、のびのびと活動できるよう努めたい」旨の心強いご発言をいただき、私たちも誓いを新たに致しました。

大野知事にはお忙しい中、ご対応いただき、ありがとうございました。

(なお、大野知事は8月6日の県知事選にてご当選し2期目に入られます。おめでとうございます。)



日本私立小学校中学校高等学校保護者会連合会

副会長 関口 健一

令和5年7月13日に兵庫県姫路市ホテル日航姫路において、テーマ「今こそ私学から発信～教育が未来を拓く～21世紀(あす)を担う子どもたちのために」のもと、各都道府県から130名の保護者会連合会のメンバーが集まり、令和4年度事業報告、決算報告、令和5年度事業計画、予算が全会一致をもって可決承認されました。そして最後には、令和5年度総会決議も可決され門閥日本私学保連会長のもと各地区や47都道府県の新体制がスタートしました。

研修会では、日本私立中学高等学校連合会会長の吉田晋先生の講演Ⅰが行われ「これからの私立学校教育の方向性」についてのお話の後に、姫路女学院中学高等学校ギターマンドリン部の高校生部活動発表の演奏がありました。翌日には、講演Ⅱとして「子どもたちの自立を促す私学教育」という演題で灘中学校・高等学校参与の前校長の和田孫博先生のお話があり2日間に渡る日私学保連令和5年度総会・研修会(兵庫大会)の全日程が無事終了しました。



関東地区私立小・中・高等学校保護者会連合会連絡協議会 代表者会及び研修会

広報部 大野 裕美

令和5年8月25日、ロイヤルパインズホテル浦和にて「令和5年度 関東地区私立小・中・高等学校保護者会連合会連絡協議会 代表者会及び研修会 埼玉県大会」を開催いたしました。

代表者会には関東各県の代表者70名が参加、協議題及び各県活動について、聴取事項及び情報交換、次期開催県について報告がありました。

同時開催の研修会には埼玉私学保連加盟校の出席者を含め157名が参加、「僕は運命を信じない」と題し、元プロボクサー/日本ライト級チャンピオン、東洋太平洋チャンピオン/心の青空基金主宰の坂本博之氏にご講演頂きました。

親からの愛情を受け、何不自由ない生活を送れる子供たちが多いこの時代に、愛情を受けることができなく大人を信用できない子供たちがまだ多くいるということに衝撃を受ける講演でした。

懇親会では、関東各県のユーモア溢れる自己紹介などで大いに盛り上がり、各テーブルでもそれぞれの県との交流が和やかな雰囲気の中行われ、次回開催県である群馬県の開催についての決意宣言を最後に終了いたしました。



日本一、世界一の生徒紹介

広報部 橋本 直哉

埼玉私学保連では、学業、スポーツ、特技などで日本一、世界一の成績を収めた生徒を対象に「優秀生徒表彰」を行っております。このコーナーでは、表彰した生徒を紹介いたします。自薦他薦は問いません。情報提供をお願いいたします。

◆対象

国内外または県より、その功績が特に認められ褒章を受賞した生徒が対象です。文化活動、スポーツ活動にとどまらず、あらゆる諸活動が対象となります。

◆選考

埼玉私学保連の「優秀生徒表彰規定」に基づいて選考いたします。

石黒愛佳さんは、全国硬筆作品展覧会にて「文部科学大臣賞」を受賞されました。



狭山ヶ丘高等学校 石黒愛佳さん

おめでとうございます!